



2023年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月13日

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2292 URL <https://www.sfoods.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 真之助
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 湯浅 庸介 (TEL) 0798(43)1065
 四半期報告書提出予定日 2023年1月16日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年2月期第3四半期の連結業績(2022年3月1日~2022年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年2月期第3四半期	295,375	12.6	10,626	△20.6	11,913	△14.0	7,041	△23.6
2022年2月期第3四半期	262,238	8.1	13,376	41.2	13,852	42.8	9,220	8.7

(注) 包括利益 2023年2月期第3四半期 11,679百万円(15.0%) 2022年2月期第3四半期 10,158百万円(20.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年2月期第3四半期	222.70	—
2022年2月期第3四半期	291.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年2月期第3四半期	207,858	115,440	52.1
2022年2月期	181,518	106,157	54.7

(参考) 自己資本 2023年2月期第3四半期 108,336百万円 2022年2月期 99,256百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年2月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2023年2月期	—	39.00	—	—	—
2023年2月期(予想)	—	—	—	39.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年2月期の連結業績予想(2022年3月1日~2023年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	375,000	4.5	14,800	△15.1	15,000	△16.7	10,000	△16.3	316.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年2月期3Q	32,267,721株	2022年2月期	32,267,721株
② 期末自己株式数	2023年2月期3Q	646,620株	2022年2月期	652,801株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年2月期3Q	31,618,566株	2022年2月期3Q	31,612,416株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスの感染者は再び増加の兆しがあるものの、行動制限はなく、地域振興券の発行や県民割や全国割といった旅行支援等による景気浮揚対策により、日本経済を持ち直そうという動きがみられました。一方、不安定な国際状況による物価高騰により、国民生活は圧迫されつつあります。当食肉業界においては、食肉原料の高騰や物流コストの上昇により、収益の確保が非常に困難な状況に苦しみました。

このような状況のもと、当社グループは、食肉の生産から小売・外食まで一貫して携わる食肉事業の垂直統合を戦略的に行っている総合食肉企業集団として、食肉商品の安定的供給に努めました。

食肉等の製造・卸売事業においては、需給バランスが崩れ、原料の価格が円安や海外での需要増により高騰し、需要が高価格帯から低価格帯の食肉や部位にシフトする中、お客様に商品を安定的にお届けすることを優先課題として諸施策を行いました。衛生面については、引き続き、仕入れ、生産、販売の各職場において、感染防止のための衛生管理の徹底、勤務体制の見直しなどを行い、業務環境の整備を徹底しました。

食肉等の小売事業においては、感染拡大が続く中、まず店舗の営業を継続すべく人員確保等に努めてまいりました。お客様満足度の向上や品質管理の徹底等の諸施策を実施し、今後もお客様に安全に安心して食品をお買い物いただくことができるよう日々の店舗運営維持を図ってまいります。

食肉等の外食事業においては、まん延防止等重点措置により、首都圏や他の大都市圏における多くの店舗が時短営業を余儀なくされる事態となりましたが、3月の解除後は行動制限もないことから回復基調となったものの、行動制限のない今夏の第7波における影響等を考慮すれば、今後も当事業を取り巻く環境は、厳しい状態が続くものと想定しています。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症の流行が下火になり、経済活動が持ち直しつつあるものの、原材料や諸経費が高騰していることなどにより、売上高2,953億7千5百万円（前年同四半期比12.6%増）、営業利益106億2千6百万円（前年同四半期比20.6%減）、経常利益119億1千3百万円（前年同四半期比14.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益70億4千1百万円（前年同四半期比23.6%減）となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は2,720億1百万円（前年同四半期比13.4%増）、セグメント利益は102億1千3百万円（前年同四半期比22.6%減）となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は182億3千1百万円（前年同四半期比0.2%減）、セグメント利益は10億5千6百万円（前年同四半期比8.1%減）となりました。

③食肉等の外食事業

売上高は44億7千6百万円（前年同四半期比44.3%増）、セグメント利益は3千3百万円（前第3四半期連結累計期間2億8千9百万円の損失）となりました。

④その他

売上高は6億6千5百万円（前年同四半期比36.4%減）、セグメント利益は4千4百万円（前年同四半期比100.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて263億3千9百万円増加し、2,078億5千8百万円となりました。これは主に、売上高の増加に伴う売上債権の増加、棚卸資産の増加及び有形固定資産の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて170億5千6百万円増加し、924億1千8百万円となりました。これは主に、仕入高の増加に伴う仕入債務の増加及び短期借入金の増加による一方で、長期借入金の減少によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて92億8千3百万円増加し、1,154億4千万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加及び為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月期の連結業績予想につきましては、2022年4月14日に発表いたしました内容に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,859	37,851
受取手形及び売掛金	32,149	41,065
商品及び製品	25,207	35,390
仕掛品	1,799	2,049
原材料及び貯蔵品	3,985	5,694
その他	6,321	9,605
貸倒引当金	△38	△54
流動資産合計	111,285	131,601
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	57,186	58,743
減価償却累計額	△27,798	△29,546
建物及び構築物（純額）	29,387	29,196
土地	15,299	15,121
その他	36,576	45,011
減価償却累計額	△25,584	△27,414
その他（純額）	10,991	17,597
減損損失累計額	△3,515	△3,692
有形固定資産合計	52,163	58,222
無形固定資産		
のれん	257	212
その他	481	416
無形固定資産合計	739	629
投資その他の資産		
投資有価証券	13,887	13,819
退職給付に係る資産	151	170
その他	3,494	3,611
貸倒引当金	△202	△194
投資その他の資産合計	17,331	17,405
固定資産合計	70,233	76,257
資産合計	181,518	207,858

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,475	34,065
短期借入金	5,533	13,284
未払法人税等	1,770	1,863
賞与引当金	1,054	1,678
その他	10,880	12,088
流動負債合計	41,714	62,980
固定負債		
社債	450	350
長期借入金	28,779	24,817
役員退職慰労引当金	174	135
退職給付に係る負債	1,886	1,897
その他	2,357	2,237
固定負債合計	33,647	29,437
負債合計	75,361	92,418
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	18,739	18,754
利益剰余金	72,631	77,332
自己株式	△410	△407
株主資本合計	95,258	99,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,956	2,917
繰延ヘッジ損益	13	48
為替換算調整勘定	989	5,363
退職給付に係る調整累計額	38	28
その他の包括利益累計額合計	3,998	8,358
非支配株主持分	6,900	7,104
純資産合計	106,157	115,440
負債純資産合計	181,518	207,858

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)
売上高	262,238	295,375
売上原価	219,913	256,347
売上総利益	42,325	39,027
販売費及び一般管理費	28,948	28,401
営業利益	13,376	10,626
営業外収益		
受取利息	16	166
受取配当金	301	338
受取家賃	98	160
持分法による投資利益	7	8
為替差益	-	478
その他	398	461
営業外収益合計	821	1,614
営業外費用		
支払利息	197	205
為替差損	26	-
賃貸原価	34	36
その他	88	86
営業外費用合計	346	327
経常利益	13,852	11,913
特別利益		
固定資産売却益	10	29
投資有価証券売却益	3	-
補助金収入	710	222
受取補償金	1	-
特別利益合計	725	251
特別損失		
固定資産処分損	240	96
減損損失	161	77
店舗閉鎖損失	0	1
店舗休止等損失	363	39
固定資産圧縮損	-	50
その他	3	9
特別損失合計	770	274
税金等調整前四半期純利益	13,807	11,890
法人税等	4,261	4,568
四半期純利益	9,545	7,321
非支配株主に帰属する四半期純利益	325	280
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,220	7,041

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)
四半期純利益	9,545	7,321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△342	△38
繰延ヘッジ損益	16	34
為替換算調整勘定	942	4,368
退職給付に係る調整額	△2	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	4
その他の包括利益合計	613	4,357
四半期包括利益	10,158	11,679
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,834	11,400
非支配株主に係る四半期包括利益	324	278

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	
税金費用の計算	当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

なお、収益認識会計基準の適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

また、配送費等の顧客に支払われる対価の一部について、従来、販売費及び一般管理費として処理する方法としておりましたが、取引価格から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、当該期首残高に与える影響はありません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,042百万円、販売費及び一般管理費は2,042百万円それぞれ減少しております。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	239,821	18,267	3,102	261,191	1,047	262,238	—	262,238
セグメント間の内部売 上高又は振替高	5,740	4	337	6,082	510	6,592	△6,592	—
計	245,561	18,271	3,440	267,273	1,558	268,831	△6,592	262,238
セグメント利益 又は損失(△)	13,188	1,148	△289	14,047	22	14,069	△692	13,376

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△692百万円には、セグメント間取引消去310百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,003百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じ る収益	272,001	18,231	4,476	294,709	665	295,375	—	295,375
外部顧客への売上高	272,001	18,231	4,476	294,709	665	295,375	—	295,375
セグメント間の内部売 上高又は振替高	5,792	4	379	6,175	550	6,726	△6,726	—
計	277,794	18,235	4,855	300,885	1,216	302,101	△6,726	295,375
セグメント利益 又は損失(△)	10,213	1,056	33	11,304	44	11,348	△722	10,626

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△722百万円には、セグメント間取引消去338百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,061百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。